昭和六年三月十日　常磐タイムス　第七號　[一]

常磐タイムス

毎月十日二十五日
定價一部金十錢
發行兼編輯印刷人高橋竹四郎
發行所　福島縣平町才槌小路
常磐タイムス社

今日の代議士は 悉く傀儡のみ

常磐タイムス社長　高橋憲太郎

今日鎬を削つて爭つて居るたものではない彼等がある政民兩黨は勿論其他政黨所ものに盲從の唯之れ幹部の屬代議士で果して眞に自己命令に議會に立つたり座つの力で衆議院議員の榮譽あたり案山子人形同樣の玩具る肩書を完全に行使し得る代議士に主義主張などあつ者幾人あるか殆んど其凡てたものではない。其證據が政府或は黨情に左右され金の切れ目が緣の切れ目で又成金富豪などの傀儡て主絶對多數の殘黨でも政權が義も主張も殆んど全部が借廻れば脫黨もする分散もす物ばかりだ。それが證據に元々金と慾とで代議士に之等凡ての政黨の消長は異成つた連中ばかりだもの試口同音に『選擧は金だ』との みに總選擧前の政黨本部に標言は即ち此の間の消息を行つて見給い即選擧費の分物語るものではあるまいか配に有り付きたい連中ばかりでウヨ〳〵して居る。彼

等が一度選擧民の前に到れば叩頭百拜巧言令色あらん限り御世辭を呈して只管そがない。昨年大浸水にたゝの一票にありつかんことのられたる當時の如きなと而み心掛け野犬が喪家の前にも凡ゆる大なる犧牲と苦心立つて殘飯を乞ふるが如き努力して一名の失業者さへ醜態を演じでゐる。然るに出さなかつた事なとは天下幸ひにして一度當選すれば周知の事實にして各方面よ

氏は一面頗る温情に富み紳士とし一點非難さるべき處

縣會戰を目前に控へて 輿論の人 小野晋平氏

小名濱の小野として同町のの事なるが當日は定めし盛況なるべし。

常磐炭礦界の 奮鬪家て人情味豊かな 萩原由申八氏

炭礦事情をよく知らぬ者は礦山と云へば頗る無氣味な暗い空氣に取り圍まれて居る處であると早合點する者も或は有らうが決して其んな處ではない寧ろ一團欒と努力大いに發揮せられ惡戰苦鬪を繼續する事幾年成功して温かい家庭の樣な感じに充されておる事は事實である。斯うした中に在つてが日經るに從へ其の信望と費金四圓三十錢來る二十六日午前六時自動車にて出發歸途磯濱町大洗神社を參詣魚來庵にて中食夫れより村松虚空藏に賽し平町散會と

聞くだに面 にくき醜行

事改めてこんな醜聞を新聞に掲ぐる事は不本意人妻たるものが現在夫が病床に臥して居るを逆待し是れ見よがちによい齡をして今日は東京明日は水戸よと夫婦氣取りで旅行などして居ると聞くが斯うした問題を組合としても何等かの方法を講じてはどうか。見て見ぬ振りして看過し居る事に對しては社會人道的問題として醜婦僞紳士に對し反省鐵槌なくては納まるまい此の相手の男こそ海岸通りで之又藝妓屋を營んで居るもので名譽職の肩書もある身で此の醜行とは一片の良心すら無いのであらうか而して相手の人妻は町からも評判が惡い醜婦で彼等二人の姪逸亂行は男の方が役者が上で

萩原由申八氏

變な噂の持主 お妻姐さん

花見前の新田町の姐さん達は其の準備に色々と作戰を相手の男に放送して居るが此處に○○家のお妻姐さん昨今トント顏色が惡くきては變な病氣にでも見舞れて居るのかと探ぐつて見れば海夜の丑水頃には一人床の中で許して下さいと夢かの樣にうめき聲を立てるとか其の呼ぶ名こそ男とはさて〳〵怪しい探ぐれば深き事情もあることならん。

はきよせ

平町某醫院では頗る不親切の上に金ばかりブッタクルとの噂が高いが果して事實かどうか（一患者）△高久邊の小學校男女職員中に醜關係あるものあり直ちに調査の上馘首すべしだ（探知生）△四倉町で人の物件を我物にして大意張で居る野郎が居るが是れでも紳士顏さいして居れば罰せられないかしら（憤慨生）△新田町の美形中にお腹が特別大きくなつた者が二三人見いへるとのこと相手の野郎は誰だらう（岡燒男）△本町通りで誤魔化して品物を賣つてる店があるがあれでは永續きするものではあるまい（忠告生）△今秋の縣議戰で石城郡で是非共當選させたい人は誰でせうね（政治狂）

笠間稻荷參詣團体

平商工團主催に依る笠間稻荷參拜團体南町吉田昌弘氏が團員百名募集の任に當て居るが申込者既に滿員に達すべく締切を廿日迄とし會費金四圓三十錢來る二十六日午前六時自動車にて出發歸途磯濱町大洗神社を參詣魚來庵にて中食夫れより村松虚空藏に賽し平町散會と

湯本町　請負業　渡邊長作
材木商　矢吹佐市
土木請負業　高木武　小名濱町
四倉町　材木商　植田三郎
生花盛花教授　小松光要
久ノ濱大敷網　新妻雄一
土木建築請負業　傾城トンネル請負主任　菊地詳三郎
小名濱町　町長　鈴木榮
助役　高木保
新築移轉　辯護士　眞木桓　平町紺屋町